

一、瓦斯電気技友会

神田七郎

資本主義の凋落の最後の断末魔に於いては労働階級の階級意識をニブラセ止ルべしといふ、又十會議會に於ける派系維持法は苛酷極まるものがある。吾等は支配階級が権力を失はざるを得ないとするものに対して何處までも反抗して行かなければならぬ。吾等は今後組合主義の主張態度が団体は無き者解放の實を以て受け止めなければならぬ。

一、關東印刷工組合

井上辰次郎

「諸君、今の社会は熱病にうかされて居る。是は社会制度の欠陥のせいで起るものである。吾等は一個の家庭の人間にあると共に社会的な一人である。社会の隅には吾等の存在がある。吾等の困苦は社会の苦より腹切せんとすべし。吾等階級の叫びである。日本に於ける失業者の割合は五分と教へておられるが、これは飯が食えない仕事はない時だけ多く、荒れものから能くこころいへるを考へるべからず、及んで存する路頭に迷はさるべきなり。此の労働組合は此等々々の解放運動をなすものである。今の社会は混乱して居る。理社の疾患の一つは失業問題である。中々ならぬ。